

塩竈市観光振興ビジョン かわら版 vol. 5

1 年間の門前町での話し合いが「花灯り」で結びつく

昨年3月の「塩竈市観光振興ビジョン」策定以後、市内の若手事業者らで構成する「観光振興ビジョン推進委員会（以下「SKV」）が立ち上がり、ビジョンに基づく各観光地点をテーマに話し合いを続けています。昨年度は門前町を舞台に本町通りまちづくり研究会等と交流を深め、ビジョンを共有するとともにまちづくりへの意識や思いを語り合い、仲間を増やすとともに、自分たちにできることから取り組んできました。

「花灯り」を核に、それぞれの取り組みがつながる

これまで毎年開催してきた「花灯り」（塩竈市青年四団体連絡協議会主催）では、同時に、本町通りまちづくり研究会（以下「まち研」）による「御釜神社花灯り」「もとまち茶屋」、塩竈小売酒販組合による「釜's BAR」、さらに観光物産協会による酒蔵めぐりなど、各種の事業が発展的に継続されてきました。今回さらに、門前町の商店等が営業時間を延長し、まちの賑わいを演出。SKVとしても、門前町の賑わいづくり提案や otomo.さんで「シメのお茶漬け」を企画するなど、自分たちにできることに取り組んできました。今後も各団体と交流を持ちこれまでの取り組みと有機的に結びついた持続可能な観光まちづくりに取り組みます。次回は「月灯り」（10月12・13日）をお楽しみに！



新年度は「浦戸諸島」をメインにアイデアを出し合っています

浦戸の魅力語り合う

浦戸諸島は特別名勝松島の島々のうち有人島4島からなる島々。人口は約300人で、マリングートから市営汽船で約25～50分の範囲にあります。離島という特性上、動植物や風景など美しい自然が残る癒しの島です。この島の魅力をもっと多くの方に楽しんでもらうには…隠れた魅力や、自分が好きな浦戸の過ごし方について、SKVで意見を出し合いました。

裏面にはみなさんから出た浦戸の魅力を一部ご紹介します。



ミーティングの様子

私の好きな浦戸の楽しみ方♪（一部）

いつでもできる楽しみ方、できたらいいなというものも含め、一部をご紹介します。
これらをどのように発信し、持続可能な浦戸の発展につなげられるか考えていきます。

幻の？かに玉子汁

昔はカニをすりつぶすが子供の仕事。島の文化・生活を感じる。

シーカヤックツアー

松島湾の島々にかこまれて贅沢に。

だんべっこ船

島の生活や島ならではのものなどを観ながら島めぐり



ゴミ拾いや三輪車レースなどのあとにごはん

体を動かして、おいしいご飯を食べる！

浦戸花めぐり

植物も豊富な浦戸。スイセンロードなど季節の花をめぐる島歩き。



謎解きゲーム

浦戸の歴史に触れながら謎を解く！

漁業体験

牡蠣（桂島）のり（桂島）わかめ狩り（野々島）採る→食べる！

仁王島をつくる

氷彫刻大会♪

海を見ながらビール&民宿で昼寝。

のんびりして自分にごほうび。

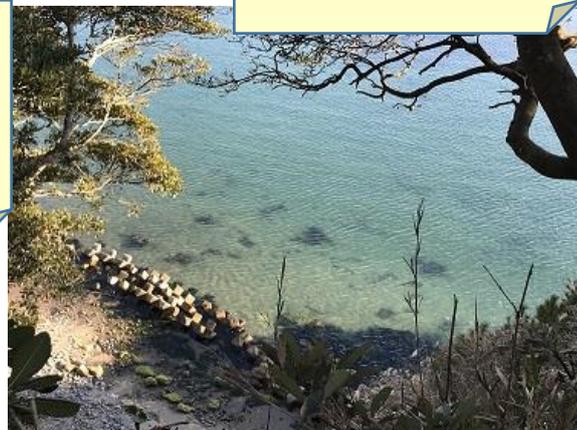
うらとヨガ講座

島の名前・形から島のヨガポーズを考える！



無人島探検ツアー

なぜかあこがれる無人島。松島湾は無人島だらけ。上陸できるのか！？



SKV活動記録（令和元年度・予定含む）

- ◆4月19・20日 花灯り協力店企画参加
- ◆5月22日 第1回 「浦戸地区の現状と課題」
- ◆6月24日 第2回 「浦戸地区でできること」
- ◆8月23日 本町くるくる談義参加

発行：塩竈市観光交流課 人・まち交流係
TEL022-364-1165